

国立精神・神経医療研究センター病院にて

心臓交感神経シンチグラフィ検査を受診された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院で受診した際の心臓交感神経シンチグラフィ検査結果・診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し検査結果・診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2018年4月1日より2029年3月31日までの間に、当院で心臓交感神経シンチグラフィ検査を受けられた方。

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 国立精神・神経医療研究センター病院

所属・氏名: 放射線診療部 笠原大雅

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: 心臓交感神経シンチグラフィにおける早期像-後期像間の乖離の解析と後期像省略可能閾値の検討

研究期間: 研究実施許可受領後~2029年3月31日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター病院 放射線診療部 笠原大雅

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: なし

情報等: 心臓交感神経シンチグラフィの検査結果、胸部X線画像、診療録(年齢、性別、発症年齢、罹患期間、診断名、神経所見や心理検査等の結果)

(取得方法) 診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、心臓の交感神経機能を評価する検査である心交感神経シンチグラフィの既存検査データを用いて、検査方法の簡略化に関する検討を行います。

通常、この検査では時間をあけて2回(早期像および後期像)撮影を行います。本研究では初回の撮影結果(早期像)から、2回目の撮影(後期像)を省略できる条件を明らかにすることを目的としています。

本研究により、検査時間の短縮や患者さんの負担軽減、医療の効率化につながることを期待されます。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。この研究による成果は学会発表や論文など学術的な場でのみで発表いたしますが、患者様の個人情報が公表されることはありません。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター病院

所属: 放射線診療部 氏名: 笠原大雅

電話番号 : 042-341-2711 (内線: 3726)

e-mail: t.kasahara@ncnp.go.jp